



個別支援会議ってというのは？



A. みんなで個別支援計画の原案の検討をするのよ。

[アセスメント](#)が終了したら、[児童発達支援管理責任者](#)はそのアセスメント及び支援内容を検討し、[個別支援計画](#)の原案、を作るのよ。

- ・子どもや保護者が、どんなふうに生活していきたいか、という生活に対する意向の検討。
- ・子どもに対して、どんなふうに支援していこうかという総合的な支援目標。
- ・いつまでにそれが出来るようになったらいいな、というその達成時期。
- ・生活全般の質(QOL)を向上させるために何をしていったらより良いのだろうか、という課題。
- ・[放課後等デイサービス](#)事業所で行う[活動](#)の具体的な内容。
- ・サービスを提供するうえで、ここには配慮が欲しい、という留意事項等。
- ・その他必要な事項

などが原案に盛り込まれているわ。

この原案は、障がいのある子どもの家族への配慮とか、学校、ほかの保健医療サービスや[福祉サービス](#)との連携も考えて作成しなければいけないのよ。

この原案をより良いものにするために、支援にあたる担当者などが出席して会議をするの。

この会議のことを、個別支援会議とか担当者会議、というのよ。

原案をより利用する人に合わせられるように検討をしていくの。

個別支援計画(放課後等デイサービス計画)を作るのが児童発達支援管理責任者の責務なのだけれど、この会議の招集もやっぱり児童発達支援管理責任者の責務なの。

原案に対しての、[みんなの意見](#)を聞かなければいけないのよ。

この会議を開催した議事録や会議の[記録](#)は、必ず残しておくことになっています。

《MENU》

[《個別支援計画に基づいた支援って？》](#)

[《構造化・視覚化ってなに？》](#)